

開き門扉AA・

開き門扉AB



安全上のご注意	10
---------	----

各部のなまえ	1
●親子仕様	1
●片開き	2

使いかた	3
●開きかた／閉じかた	3
●施錠・解錠方法	4
●オートクローザーについて	5
●落とし棒の操作方法	6

お手入れ	7
●扉（金属部分）	7
●扉（ガラス部分）	8
●ラッチ	8
●落とし棒受け	8
●鍵・シリンダー・ラッチ部分	9

修理と保証	13
-------	----

保証書	15
-----	----


この取扱説明書の内容は、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様の危害や損害を未然に防止するためのものです。表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。


⚠ 警告

取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。

⚠ 注意

取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

 行なってはいけない内容です。

 必ず実行していただく内容です。

お願い 取扱いを誤った場合に、製品の損傷または故障のおそれがある内容を示しています。

保証書付き

- 製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、たいせつに保存してください。
- 保証書は「お引き渡し日、販売店名」などの記入を必ず確かめてください。

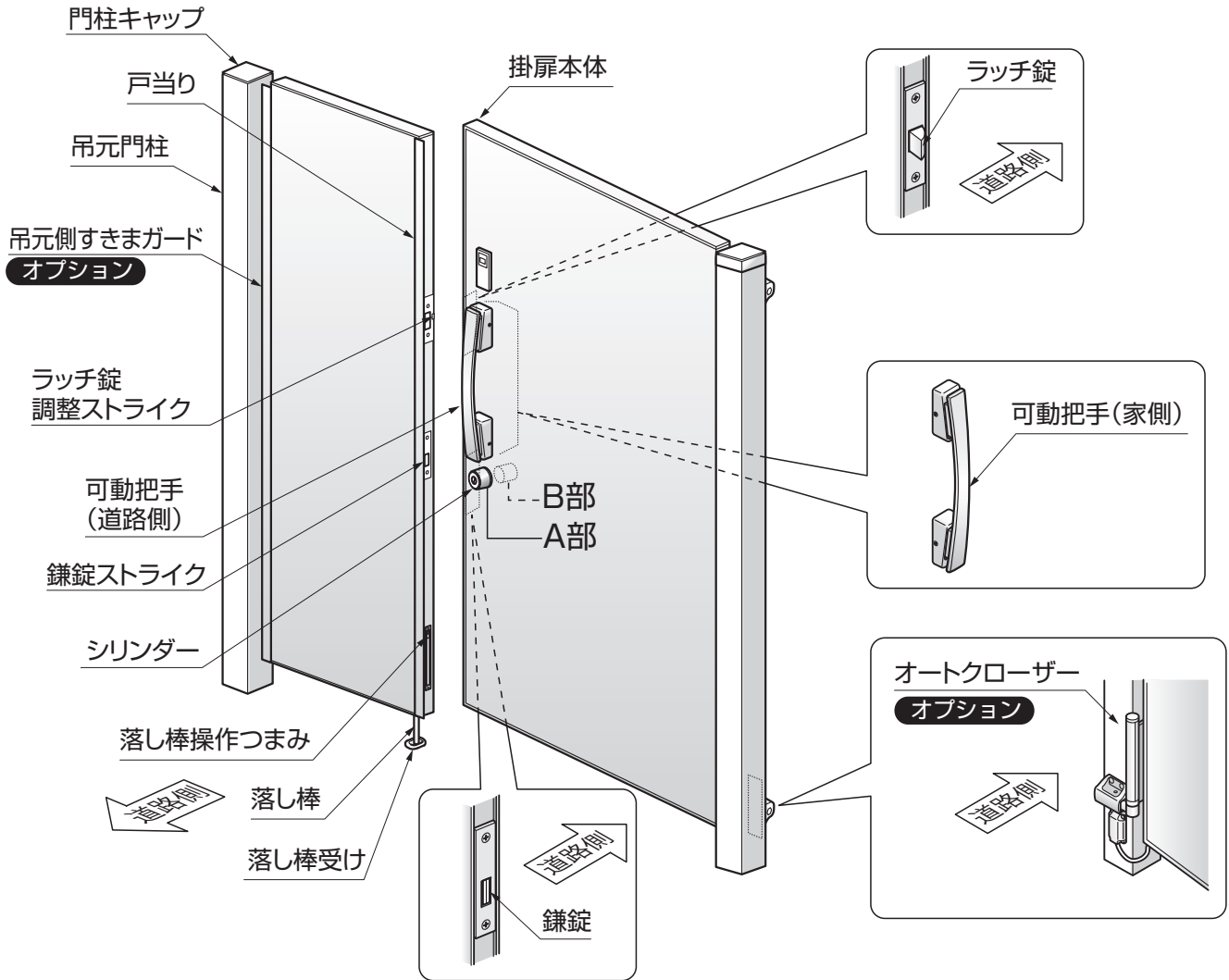
各部のなまえ

親子仕様

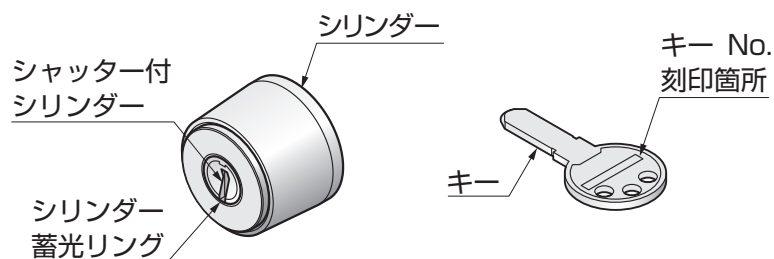
各部のなまえ

補足

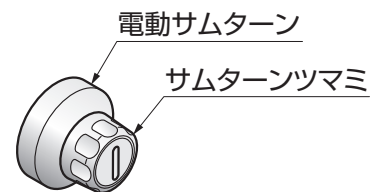
- ・図は右勝手：内開き親子仕様を示しています。
- ・電気錠については、各種電気錠システムの取扱説明書を参照してください。



A部(道路側)



B部(家側)

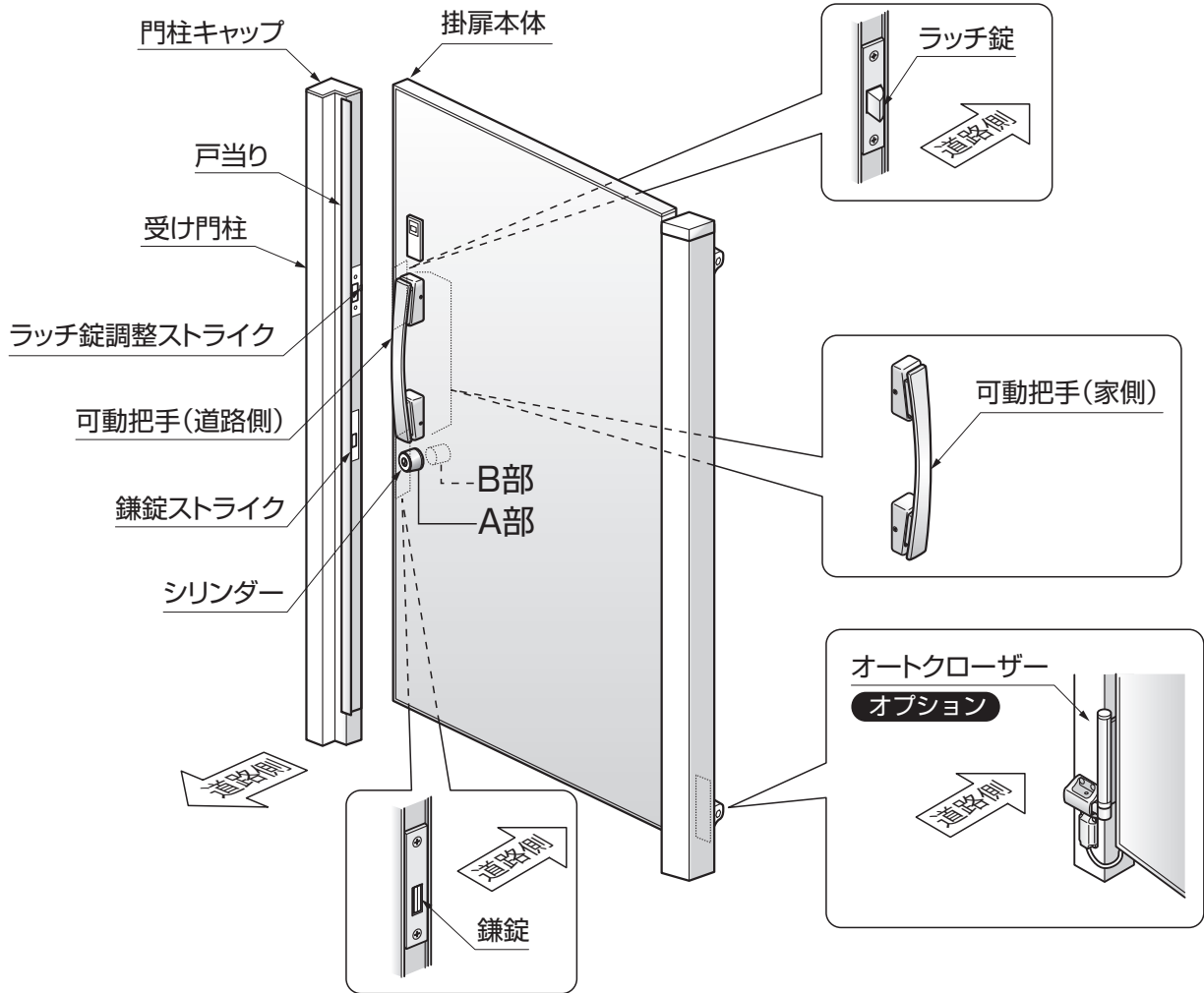


片開き

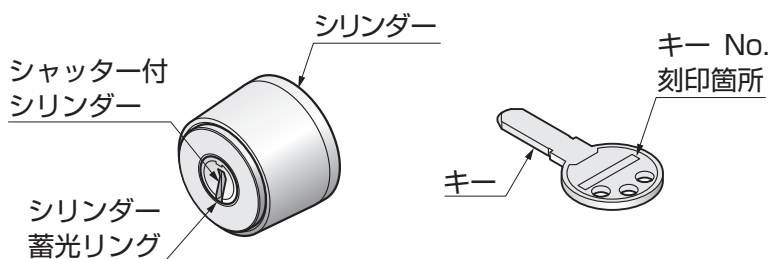
補足

- ・図は右勝手：内開き親子仕様を示しています。
- ・電気錠については、各種電気錠システムの取扱説明書を参照してください。

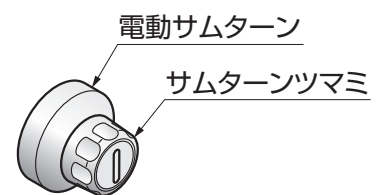
各部のなまえ



A部(道路側)



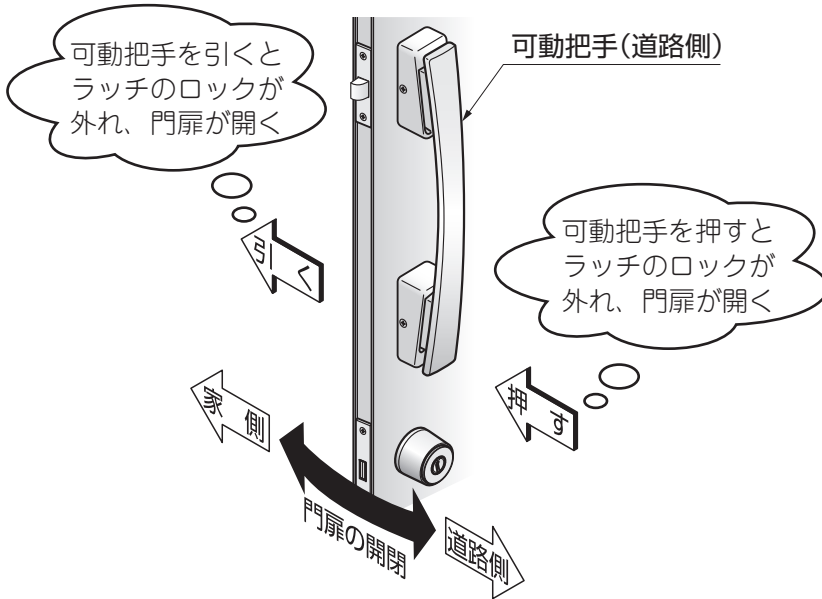
B部(家側)



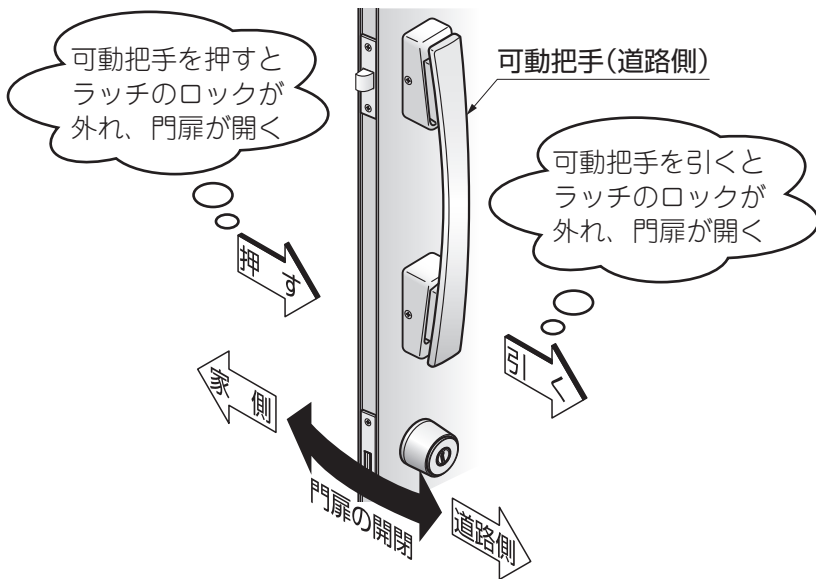
開きかた／閉じかた

- 補足**
- ・図は右勝手の場合を示します。
 - ・シリンダー、サムターンで施錠しているとき(「施錠・解錠方法」(P.4)参照)は、門扉の開閉はできません。

内開きの場合



外開きの場合



- 補足**
- ・可動把手を持って門扉を閉じると、ラッチが掛かり、門扉が閉ります。

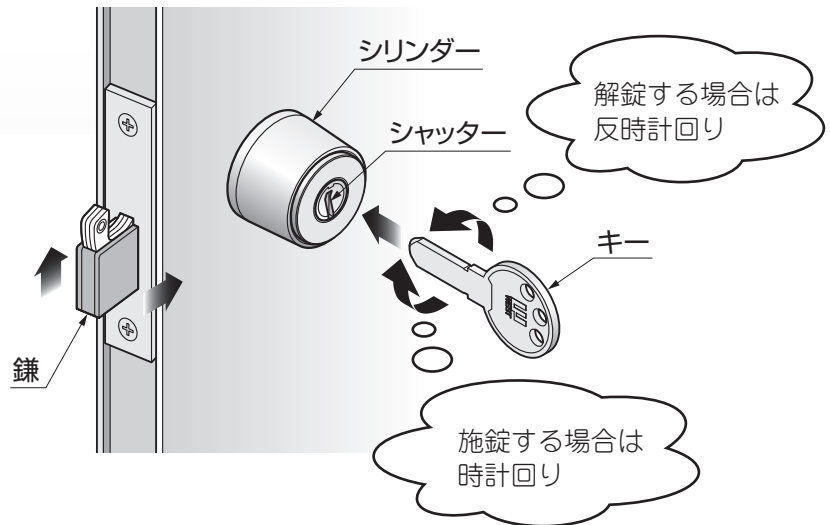


施錠・解錠方法

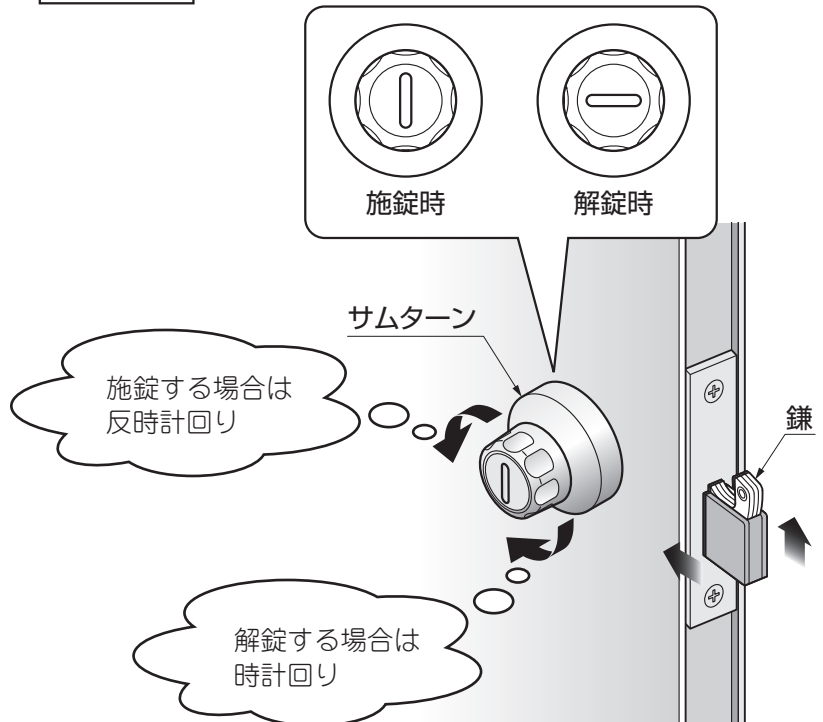
補足

- ・図は右勝手の場合を示します。左勝手に操作する場合は逆方向に回してください。
- ・キーの抜き差しは、縦向きの状態で行います。

道路側の場合



家側の場合



オートクローザーについて (オプション)

- 門扉を開いた後、作動範囲内であれば自動的に閉まります。門扉を閉じる場合は作動範囲まで閉めてください。
- 門扉をストップ範囲まで開くと、簡易的に止められます。

補足 ・ オートクローザー付門扉には、作動範囲とストップ範囲があります。
・ オートクローザーのスピードの調節が必要な場合は、施工店にご相談ください。

作動範囲とストップ範囲の角度

！ 注意



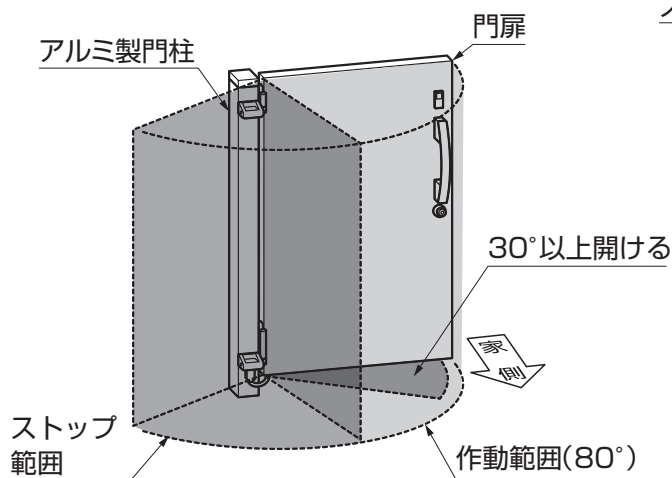
必ず実行

● オートクローザー門扉は30° 以上あけて使用する！

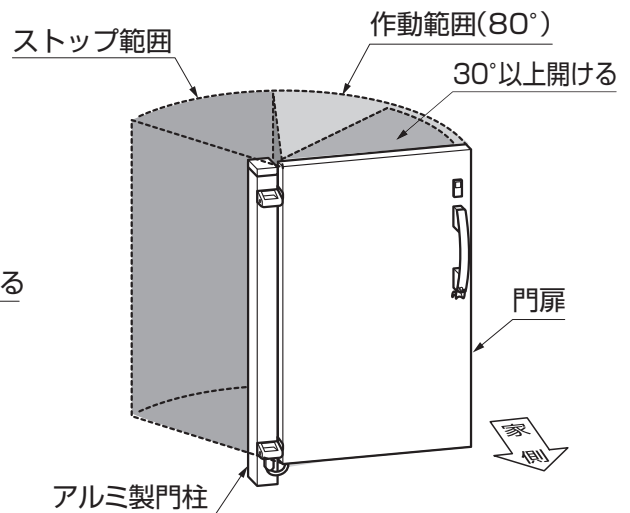
オートクローザー門扉は開閉角度が少ないと、ゆっくりしまらない範囲があります。門扉は30°以上開けてご使用ください。ぶつかったりして、ケガをするおそれがあります。

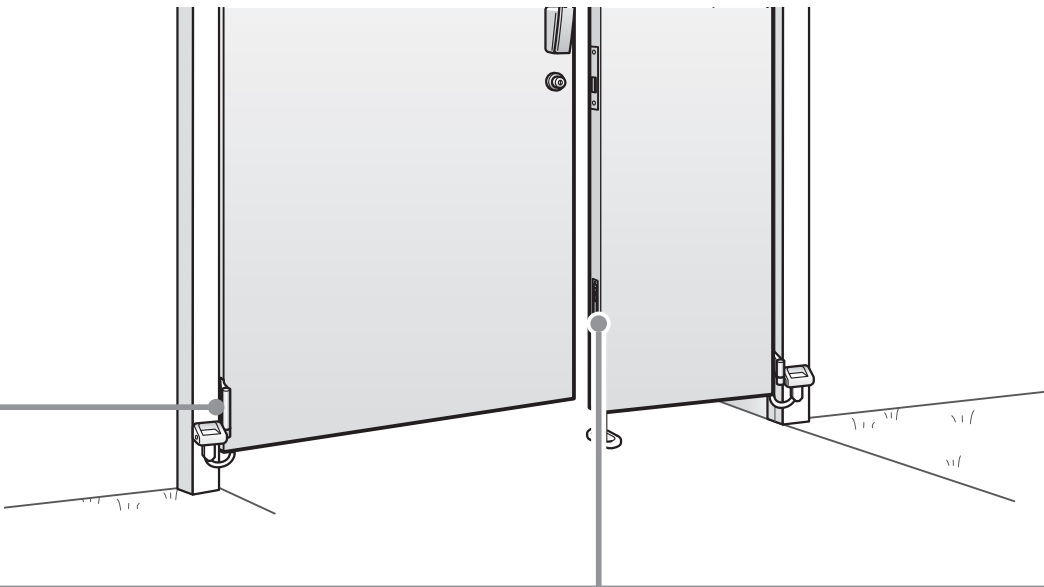
補足 ・ 内開きと外開きでストップ範囲が異なります。
・ 外開きの場合、柱が変わるとストップ範囲が変わります。
・ 図は内開き親子仕様を示しています。

【内開きの場合】

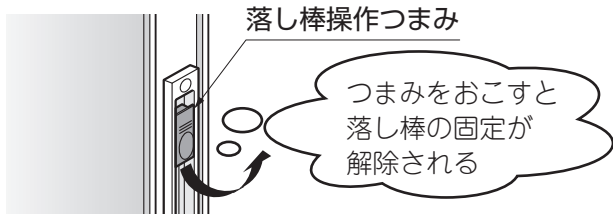


【外開きの場合】

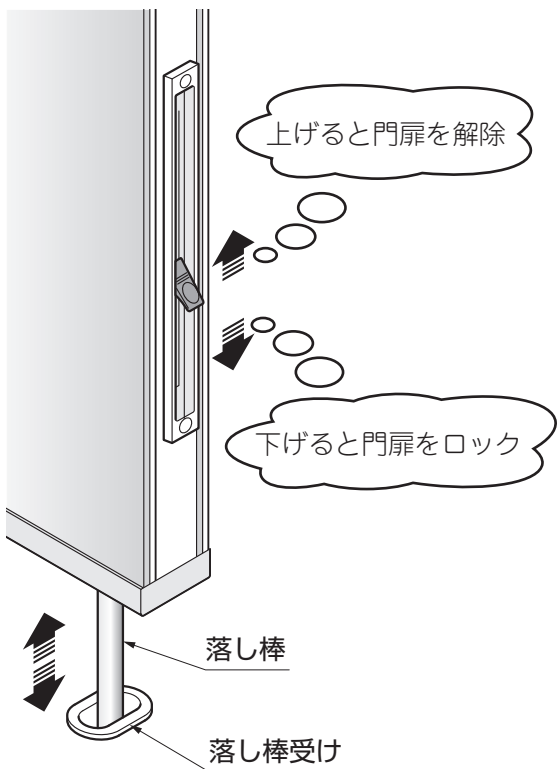




落とし棒の操作方法



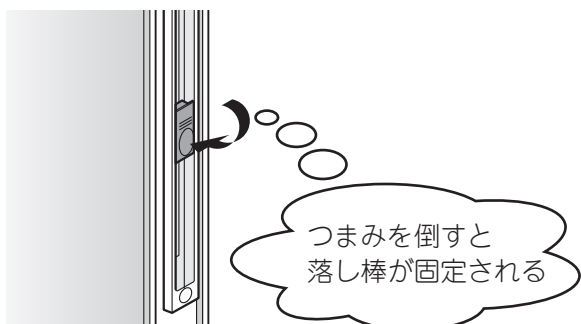
① 落とし棒操作つまみをおこします。



② つまみを上下させて落とし棒を操作します。

補足

- ・ つまみを下げると落とし棒が下がります。落とし棒は落とし棒受けに確実に挿し込んでください。
- ・ 掛側の門扉に、落とし棒はありません。



③ 落とし棒操作つまみを倒して元にもどします。

！ 注意



必ず実行

- 扉を開閉時は、しっかりと落とし棒操作つまみを倒す！
つまみを起こしたまま扉を開閉すると、落とし棒や門扉が破損するおそれがあります。

扉（金属部分） お掃除：定期的に

アルミの場合

- アルミはスチールなどと比べてサビにも強く、維持費のかからない素材です。ただし、表面に付着した汚れを長期間放置しておくとう腐食の原因になることがあります。メンテナンスのポイントは、年に数回の水洗いです。それだけでアルミの美しい光沢はいつまでも保てます。
- 表面についた砂やほこりをていねいに取除きます。
- 汚れが著しくサビが出ている場合は、中性洗剤を付けたスコッチブライト、または研磨材入りクリーナーで軽くこすり、汚れやサビを取除きます。そのあとよく水洗いをして、乾拭きをしてください。



お願い

- ・汚れの拭き取りには、布やスポンジなどの柔らかいものを使用し、金属性ブラシや金ペラの使用はさけてください。
- ・洗剤は必ず、中性洗剤を薄めて使用してください。
- ・シンナー・ベンジンなどの有機溶剤は使わないでください。材料が変形・変色することがあります。
- ・小石・砂などが付着したままでこするとアルミ表面にキズがつきます。あらかじめ取除いてください。

補足

- ・お手入れは、できるだけ根気よく行なってください。汚れを放置すると表面の劣化に悪い影響を与えることがあります。
- ・小石が当たるなどして表面についたキズは、放置すると腐食の原因になります。弊社純正のアルミ形材補修用塗料をご利用ください。補修用塗料はタッチペン式です。

鋼板の場合

- 鋼板の表面をよりきれいな状態でお使いいただくために1ヶ月に1回程度お手入れをおすすめします。特に海岸近くではお手入れの頻度をさらに多くお手入れをしてください。
- 流水をかけながら柔らかい布又はスポンジを用いて汚れを洗い流してください。
- 汚れがひどく流水では除去できない場合には中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし、その後水洗いします。
- 最後に柔らかい布又はスポンジで丁寧に水拭き仕上げ、乾拭きしてください。

お願い

- ・洗剤や薬品は、中性のものを使用してください。酸性薬品、アルカリ性薬品、塩素系薬品の有機溶剤は表面材の腐食や表面塗装はがれを引き起こしますので絶対に使用しないでください。
- ・お手入れの際には柔らかい布又はスポンジなどを使い、ワイヤーブラシやサンドペーパーのご使用はさけてください。
- ・こすって出来たキズは直りませんので、表面にキズをつけないようご注意ください。

扉（ガラス部分） お掃除：定期的に

お願い

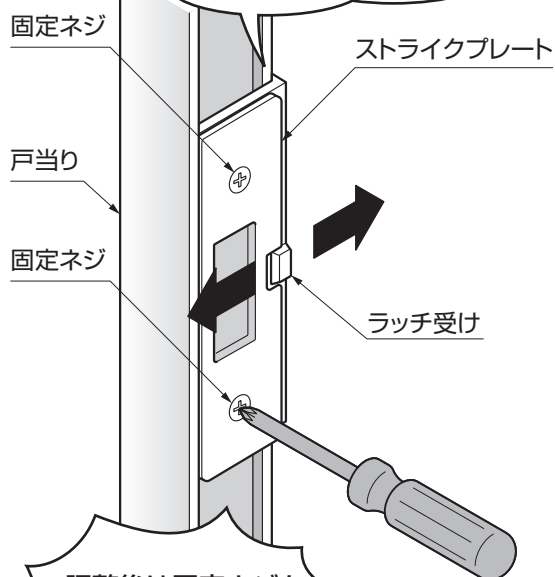
- ・冷暖房の吹き出し空気や熱を直接ガラスに当てたり、強い照明を当てたりしないでください。
- ・ガラス面に紙やフィルムを貼ったり、ペンキを塗ったりしないでください。

中性洗剤又はガラスクリーナーで汚れを落とす→柔らかい布またはスポンジで拭き取る



ラッチ 掛かり具合の調整

ストライクの固定ネジを軽くゆるめる→ラッチ受けを左右にスライドして調整



調整後は固定ネジをしっかりと締付ける！

お手入れ

落とし棒受け お掃除：定期的に

お願い

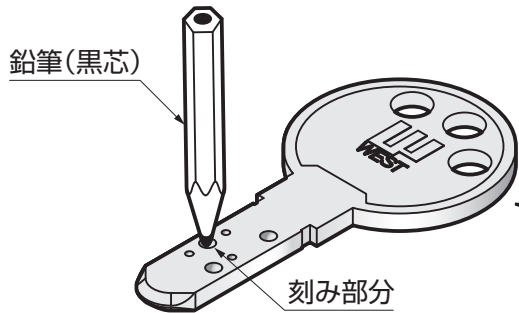
- ・落とし棒受けの中のゴミ・土・砂がたまった場合、落とし棒受け内の掃除をしてください。

落とし棒受け内のゴミを割り箸などでほぐす→水をかけて中のゴミを洗い流す



鍵・シリンダー・ラッチ部分

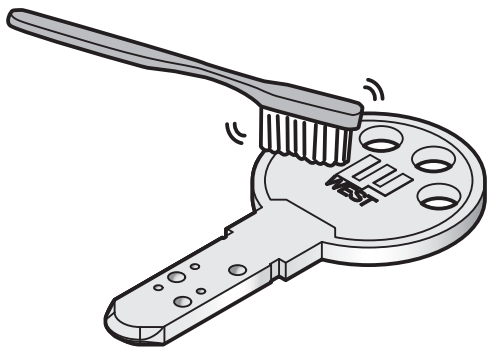
お掃除：定期的に



ディンプルキーの刻み部分を鉛筆でなぞるよう
に黒く塗る→数回鍵穴に抜き差し

お願い

- ・ 鍵に付着した鉛筆の黒い粉は、布等で拭きとってください。付着したまま使用されますと衣服等を汚すおそれがあります。



補足

- ・ ラッチの動きが悪かったり引っ掛かる時は、ラッチ部の汚れを拭いてください。動きがスムーズになる場合があります。

⚠ 注意 全般について



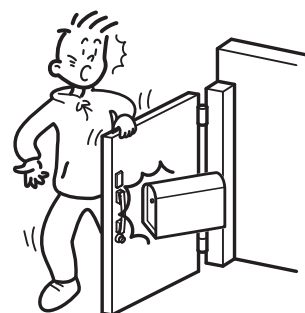
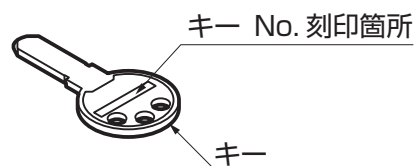
必ず実行

●勝手な分解や調整をしない！

異常作動したり破損して危険です。必ずお買あげの販売店（工事店）にご相談ください。

お願い

- ・シリンダー・蓄光リングなどの錠に関する部品の交換は、お買あげの販売店（工事店）にご相談ください。
- ・キーはメーカー純正のものをご使用ください。
なお、キーの作製を行うためにはキーNo.が必要です。
キーNo.は英数字でキーに刻印していますので、
「(3) 修理について」(P.13)の欄に控えてください。
- ・錠穴に油や異物を入れないでください。錠の操作ができなくなります。
- ・錠がスムーズに動かなくなったら、錠前専用潤滑剤を錠穴に注入してください。
油や市販の合成潤滑剤は、ホコリを吸着し、かえって動きを悪くしますので使用しないでください。
- ・錠が凍結して動かなくなった場合は無理に動かさず、市販のスプレー式霜取り剤を使用してください。
- ・錠や門扉の近くに物を吊るさないでください。
強風時に扉のガラス面に当たり破損の原因になります。
なお、破片の処理には十分に気をつけてください。
- ・門扉を開閉する範囲に障害物を設置しないでください。
扉や設置した物が破損するおそれがあります。
やむを得ず設置した場合は、物にぶつけないように十分注意して
門扉を開閉してください。
- ・門扉の付近で農薬や殺虫剤などの薬剤を使用する場合は、
表面に付着しないようにしてください。表面が変色するおそれがあります。



安全上のご注意

安全上のご注意

！ 警告 ガラス



必ず実行

●ヒビや割れが発生した場合には交換すること！

破損して危険です。

お願い

- ・ガラスが破損した場合は、お買あげの販売店（工事店）にご連絡ください。
- ・ガラスが破損した場合は、安全のために速やかに破片を処理をしてください。なお、破片の処理には十分に気をつけてください。



！ 注意 落し棒



必ず実行

●落し棒の掛かりが10mm以下になる前に落し棒受けを清掃する！

落し棒の掛かりが浅いと、強風で扉が動き、扉の破損または人に当たるおそれがあります。



●強風時は施錠し落し棒を固定！

強風で扉が開き、人に当たってケガをするおそれがあります。



禁止

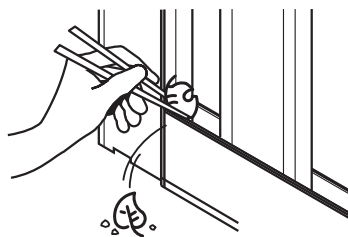
● 寄りかからない！ 乗らない！ ぶらさがらない！

門扉がはずれたり、転落したりケガをするおそれがあります。

● 落ち葉などが溝にたまったときは、手で取除かない！

ケガをするおそれがあります。

ピンセットや割り箸などをつかって取除いてください。

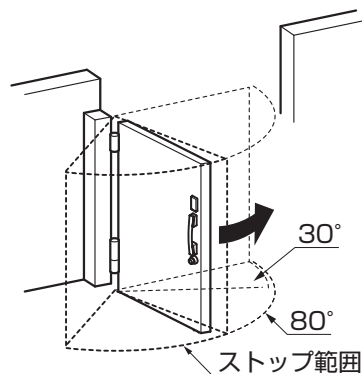


● 強い衝撃を加えない！

部材の変形やガラスの破損でケガをするおそれがあります。

● オートクローザー付の門扉の場合、ストップ範囲のまま放置しない！

風などで、門扉が急に閉まる場合があります。



必ず実行

● 開閉操作をする前に周囲を必ず確認する！

人や物が扉にはさまれたりぶつかったりして、ケガをするおそれがあります。

特にお子様の飛び出しなどに注意してください。

● 開閉するときは、手や足をはさまないように注意する！

門柱や扉の間や、扉と扉の間、錠の把手部分などに手や足をはさむとケガをするおそれがあります。

特に風の強いときは、急に開閉しますので注意してください。

● オートクローザー門扉は30°以上あけて使用する！

オートクローザー門扉は開閉角度が少ないと、ゆっくりしまらない範囲があります。門扉は30°以上開けてご使用ください。ぶつかったりして、ケガをするおそれがあります。

修理と保証

(1) 保証書について

- 保証書は必ず施工店名、施工日などの所定事項を確かめて施工店からお受け取りください。
- 保証書記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。

(2) 保証期間

お願い

- 保証期間内でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

施工完了日(お引渡し日)	1年	2年
電装部品	無料	有料
電装部品以外	無料	有料

(3) 修理について

- 製品に異常が生じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店(工事店)にご連絡ください。
- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく	ご氏名	
製品名		ご住所	
施工日	年 月 日	電話番号	
施工店名		キー No.	

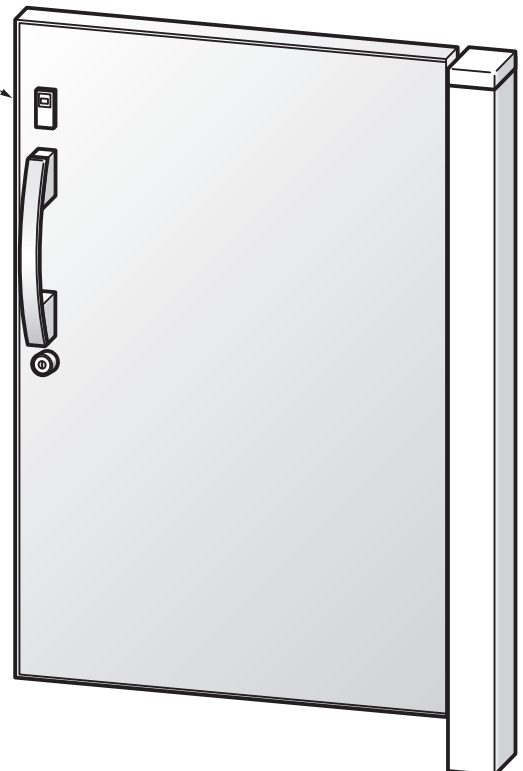
- 消耗品は寿命があり、有償保証となります。

(4) 点検および修理料金のしくみ

- 修理料金は技術料、部品代、出張料などで構成されています。
 - ・技術料は、点検および故障個所の修理および部品交換、調整などの作業にかかる費用です。
 - ・部品代は、修理に使用した部品代です。
 - ・出張料は、修理士を派遣する場合の費用です。なお修理により交換した部品、製品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。

※門扉本体の商品名シールは、合掌框の側面に貼ってあります。

合掌框



(5) 交換用部品について

- お客様ご自身でお取替えいただける部品については、ホームページよりご注文いただけます。

リクシルストア

<https://store.lixil.co.jp/>

掲載のない部品につきましては、お求めの取扱い店又は当社お客さま相談センター ☎0120-126-001にご連絡ください。

MEMO

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

開き門扉AA・開き門扉AB — ST錠仕様 — 保証書

製造No. (商品名シールNo.)		
保 証 期 間	対 象 部 品	期 間 (お引渡し日より)
	本 体	2ヶ年
	但し電装部品	1ヶ年
お引渡し日	年 月 日	
お 客 様	ご住所	
	お名前	様
	電 話	()

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名及び製造No.が不明の場合は、保証しかねますので施工店に必要事項の記入をご依頼ください。又本書は再発行致しませんので大切に保管してください。

施 工 店	住所・店名	(印)
	電 話 ()	

株式会社 LIXIL

- 1. 保証者**
株式会社LIXIL
- 2. 保証の対象者**
当該商品の所有者
- 3. 対象商品**
LIXILブランドで発売しているエクステリア商品、ガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品
- 4. 保証内容**
取扱い説明書・表示ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に発生した不具合については、下記に例示する免責事項を除き、無料修理いたします。
- 5. 保証期間**
当該商品の施工完了日(お引き渡し日※)から起算して2年間。(電装部品及び木製品については1年間。ラッピングシートの“浮き”や“はがれ”およびそれに伴う“著しい変色”については5年間。)ただし、施工を伴わない商品及びガーデンリビング ファニチャー&グッズ商品についてはご購入された日から起算して1年間。
※注) 新築分譲住宅の場合は、建築主さまへの引渡し日。
- 6. 品質保証の免責事項**
保証期間内でも、次の様な場合には有料修理となります。
 - ① 当社の手配によらない第三者の加工、組立て、施工(基礎工事、取付工事、シーリング工事、電気工事など)、管理、メンテナンスなどの不備に起因する不具合(海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色、腐食、基礎寸法や取り付け寸法違いなどによる性能低下、工事中の養生不良による変色や腐食など)。
 - ② 取扱い説明書や表示ラベル、カタログなどに記載された使用方法からの逸脱及び適切な維持管理を行わなかったことなどに起因する不具合(例えば、雪下ろしや操作上の注意などの注意シール内容の不励行による破損など)。
 - ③ 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする地域や場所に取り付けられた場合の不具合(例えば、積雪強度、耐風圧強度、寒冷地での作動性や凍結に起因する不具合など)。
 - ④ 建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合。

- ⑤ 商品又は部品の経年変化(使用に伴う消耗・摩耗など。木製品のさくれ、ヒビ割れ、変色、ネジ、ボルトの緩みや釘の浮きなど)や経年劣化(樹脂部分の変質・変色など)またはこれらに伴う不具合、および電池・電球などの消耗品の損傷や故障。
- ⑥ 商品又は部品の材料特性に伴う現象(例えば、木製品の反り、干割れ、色あせ、目目違い、節抜け、樹脂のにじみ出しなど)。
- ⑦ 自然現象や住環境に起因する結露などに起因する不具合(例えば、結露による凍結、サビ、カビ発生など)。
- ⑧ 環境が特に悪い地域又は場所に取り付けられたことに起因する腐食及び不具合(例えば、海岸地帯での塩害や大気中の砂塵・煤煙・金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯器などの排気ガスが付着して起る腐食や塗装はく離、異常な高温・低温・多湿による不具合、軟弱地盤による沈下や、倒壊など)。
- ⑨ 天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など)により商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
- ⑩ 実用化されている技術では予測不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合。
- ⑪ 犬、猫、鳥、ねずみ、虫などの小動物の害、またはつるや根などの植物の害、またはそれに関する不具合。
- ⑫ 所有者様や第三者による不当な修理や改造(必要部品の取り外し含む)に起因する不具合。
- ⑬ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
- ⑭ 犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合および盗難。

※保証期間経過後の修理・交換などは有料といたします。
※本書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所・お客さま相談センターにお問い合わせください。
※本商品保証は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is availed only in Japan.)

※当社の商品に関し、上記に記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行うことをお約束するものです。

※保証期間中に故障・損傷などの不具合が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店に修理を依頼してください。当社支店・営業所、お客さま相談センターにてご相談を承ります。

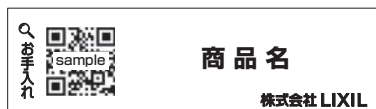
会社や商品についての情報のご確認は、LIXILオフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CADデータなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

困った場合の対処(商品二次元バーコード情報)

商品にある二次元バーコードを読み取ると商品情報が閲覧できます。



※商品の特性上二次元バーコードが貼られていない商品もあります。

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎0120-126-001

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎0120-413-433

<https://www.lixil.co.jp/support/>

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

取説コード

UA227

JZ2634826C
201808A_1049
202409D_1049